



笑顔でイキイキ！健康らんど

予防接種はお済みですか？

町保健福祉課母子保健係 奥村 由紀恵

師走がやってきました。今年は、日本でも大きな災害があり本当に大変な年でした。でも、人の繋がりがや絆に改めて気づかされた年でもあったのではないのでしょうか？そんな今年もあと1ヶ月です。

さて、今月は**麻疹・風疹混合の予防接種**についてお話しします。

この予防接種は、もちろん麻疹と風疹を防ぐためのもので、1歳から2歳の間に1回（1期）、就学前の年度に1回（2期）の接種となります。そして、平成20年度より5年間、中学1年（3期）と高校3年（4期）にも実施しています。今年度は4年目となります。俱知安町では、1期を除く2、3、4期の対象となるお子さんのいる世帯には、個人通知をして、年度内の接種を促しているところですので、**1年度が半分過ぎ**た今現在（9月末）、接種率があまり伸びていません。2期は75・2%で順調に接種されていますが、中高校生の接種率が伸びず、中学1年（3期）は55・4%、高校3年（4期）は65%です。一時期、大学生や若い世代で麻疹が流行し、関心が高まったのですが、今、あまり話題になっていないせいもあり、本人や親御さんも接種の必要性が薄れているようですね。但し、麻疹も風疹も発症すると怖

い病気です。麻疹は高熱を伴いますので肺炎・脳炎を起こし、死亡例もあります。風疹は妊娠初期にかかることで障害をもった児童が生まれる可能性が高くなります。どちらも大人になってかかると重症化します。また最近では、大学入学の際に接種が必須だったり、未接種だと海外への修学旅行に行くことができなかったりという事があるようです。

「今、流行っていないから」とか「痛いから」等で接種を拒む方もおられますが、接種しているからこそ大流行にならずに済んでいますし、今痛いのが嫌で接種せずにいて、発症してしまったらもつと痛い思いをしますし、周りの大切な方にまで迷惑をかけてしまいます。どうか早めの接種を検討して下さい。

お問い合わせは、保健福祉課母子保健係（☎23-0500）まで。又、他の学童期の予防接種（小6の二種混合、子宮頸がんワクチン）とエキノコックス症検査も公費負担していますので、実施をお勧めします。年明けは大変混みますので早めにご予約下さい。詳細はお問い合わせ下さい。子宮頸がんワクチン、エキノコックス症検査は健康推進係（☎22-1144）まで。

いつまでも
みんな
生き生き

『おいくつになりますか？』

いよいよ師走。早いもので、一年の締めくくりの月を迎えました。

新しい年を迎えるということは、毎年のことながら特別な気分にはせられます。さて、お年寄りとの話の中で、年齢をたずねると、よく「数えなら〇〇歳」とか「満かい？数えかい？」と言われることがあります。

誕生日に1歳ずつ年を加える「満年齢」が日常的に使われていますが、「数え年」で年齢を数えるのは大正や昭和前半生まれの人に多いような気がします。

数え年は、生まれた時を1歳として（妊娠期間の十月十日も年齢に加えるため）、それ以降元日が来るごとに1歳ずつ年を加える年齢の数え方で、一年間その年齢となります。

年末に生まれた場合、満年齢では0歳。数え年だと生まれた時に1歳、元日を迎えると2歳と、最大2歳の差が生じます。

じるのです。

戦後は満年齢での使用が勧められましたが、その理由の一つに、「若返ることで日本人の気持ちを明るくさせる効果」があるとのこと。確かに、最大2歳の違いは大きいですよ。

ですが、赤ちゃんが母さんのお腹の中にいる期間も年齢に加えるという数え年の考え方も、忘れないで大切にしていきたいものです。

大晦日のことを年取りとも言いますが、元日に年を取ることに通じるのでしょうか。

年末に向けて、これから何かと忙しくなる季節ですが、冬も本番。

風邪をひいたり、体調を崩してしまわないよう体調管理に気を付けてよいお年を。

■地域包括支援センター
（保健福祉会館内）

☎23-0100